

# 憩いのパークの魅力

## 「子どもいきいき自然体験 フィールド100選」を紹介します



◀この看板が選定の証

今回はネーブルパークが選定されている「子どもいきいき自然体験フィールド100選」を紹介します。

これは、子どもたちが元気に成長できるよう、茨城県の持つ豊かな自然とのふれあいや、野外体験活動にふさわしい場所を5つの視点から選定し「子どもいきいき自然体験フィールド100選」としたものです。古河公方公園や三和ふるさとの森も選ばれています。

さて、選定の基準となる5つの視点ですが、①自然や地域の特性を生かした豊かな体験活動ができる場所②自然や動植物について多様な学習活動ができる場所③活動を支援する機能や環境条件が整っている場所④学校や集団で利用することができる規模の場所⑤安全性とされています。

ネーブルパークはもともとあった平地林を有効に活用して作られた公園であり、これらの基準のうちの「自然や地域の特性を生かした豊かな体験活動ができる場所」という

ことがあてはまるでしょう。「自然や動植物について多様な学習活動ができる場所」に関しては、もっとも特徴的な施設がポニー牧場です。そして「活動を支援する機能や環境条件が整っている場所」については、キャビンやバーベキュー広場、研修センター「平成館」などがその代表的な施設と言えます。

ところでこの100選ですが、小学生を対象としたスタンプラリーも同時に行っていて、スタンプを押した数により県知事賞や県教育長賞の表彰があります。また、誰でも参加できる「漫遊いばらきスタンプラリー」の対象施設にもなっています。

過ごしやすい季節になり、秋の行楽シーズンがやってきました。爽やかな秋風の中、ネーブルパークをはじめとした市内の公園はもとより、茨城県内の施設を回ってみてはいかがでしょうか。

【問】ネーブルパーク管理事務所 ☎92-8752

### 表紙写真



市内にいる約400人の消防団員は、私たちの安全安心を守るために、普段から繰り返し訓練をしています。

見えないところで活躍する「マチノメモリビット」に私たちの生活が支えられています。

9月3日に開催された古河市消防ポンプ操法練習会の一コマですが、必死に火点に向かう団員の背中を家族や仲間が後押ししているようにも見えます。決して諦めずひたむきな消防団員の皆さん。これからも頑張ってください。

### 寄付

古河遊技場組合(朴孝一組合長)より、犯罪防止のため防犯カメラ2基4台の寄付。

### 古河市データ

#### 人口

(9月1日現在) 住民基本台帳から

総人口	144,373人 (+70)
男	72,818人 (+69)
女	71,555人 (+1)
世帯数	60,501世帯 (+113)

( ) 内は前月比